



開物成務

新年がスタート 本年もよろしくお願いいたします

3学期がスタートしました。冬休み中、事故などなく、始業式を迎えることができましたこと、大変嬉しく思っています。ご家庭でのご指導、ご配慮に感謝いたします。

50日間の第3学期もコロナ対策をしっかりと行いながら、それぞれの学年で今年度のまとめをし、子どもたちが夢や希望をもって次なるステージに進むことができるよう教職員一同力を尽くして参ります。保護者の皆様や地域の皆様には、今学期もご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症対策を油断することなく

◎ 東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県を対象とした緊急事態宣言が発出されたことを受けて、福島県は県民に宣言が出された地域への不要不急の往来自粛を求め要請するとともに、1都3県以外の感染が拡大している地域との往来についても必要性を慎重に判断するよう求めています。また、新たな感染を防ぐため「①外出はその必要性を考え、慎重に行動する②普段一緒にいない人との飲食などを避ける③マスクなしでの会話はやめる」ことの3つの行動を県民に求めています。

☆ 本校では、「マスクの着用」「手洗いの励行」「室内の換気」「3密の回避」などの新型コロナウイルス感染症対策を、油断することなくしっかりと継続していきます。また、行事等においても内容・方法を検討、対策を講じて教育活動を進めて参ります。（行事等への取組については、学校だより・学年だより等でお知らせします。）

☆ 保護者の皆様におかれましても「毎日の検温・健康観察」を継続し、「十分な栄養・睡眠」に心がけていただきますとともに、「帰宅後の手洗い・うがい」「定期的な換気」など、家庭内での感染予防にもご配慮ください。

なお、「発熱・風邪症状等がある場合には大事をとって休ませる」ようにしてください。出席停止となり、欠席扱いとはなりません。同居家族に同様の症状があり、感染の不安があつて欠席した場合も同様です。皆様ご存知のように、子どもの場合、家庭内感染のケースが多いとされています。これからも家族みんなで感染予防を進めていただければと思います。

学期はじめ 事故に十分注意！

◎学期はじめ、特に注意をしていきたいのが、「交通事故」です。現代は車社会であり、通い慣れた道路にも危険性が絶えず潜んでいます。「とびだしは絶対しないこと」「交差点等で信号待ちをする際は、車道から離れて待つこと」「道路の状況が悪い場合（凍結・積雪等）は、自転車に乗らないこと」など、ご家庭でも出かける前に交通事故防止の一声をかけてください。

昨年末には、他県で子どもたちが道路を横断している列に車が突っ込んでくるという事故がありました。「自分の目で左右を確認し、車が来ないことを確認して横断すること」が大切で、学校では繰り返し指導していきます。

プレイバック2学期～最終日に開成小のよさをあらためて感じました～

12月23日（水）は、長かった2学期の最終日。終業式は、2部構成で行いました。第1部は体育館での実施です。今年初めて全校生が体育館に集まった集会ですが、開成小のよさをあらためて感じた式となりました。1年生が最後に入場したのですが、2年生から6年生は、1年生にお手本を見せようと、列を整え、話をせずに静かに迎えました。1年生もそれを感じ、話をせずに整列できました。話をきちんと聞ける開成小の子どもたち、がんばることができる開成小の子どもたちのよさを感じました。校旗隊の入場もすばらしく、見ていた子の中には憧れを感じ、自分もなりたいと思った子もいます。また、第1部の終わりには、合唱部と合奏部の子どもたちが、すてきなクリスマスソングのプレゼントをしてくれました。すてきな演奏が体育館に響き、さながらコンサートホールのような感じでした。（合唱部の子どもたちは、マスクをした上でフェイスシールドを着用、間隔も十分にとりました。）

第2部は放送で行いました。代表児童が、2学期の思い出を発表しましたが、どの発表からも子どもたちのがんばりが伝わってくるすばらしい発表でした。開成小の子どもたちのすばらしさをあらためて感じる事ができた終業式でした。

下校の時間には、3年生がサプライズで「歓びの歌」をリコーダーで演奏してくれました。昇降口にリコーダーの音色が響き、下校する子どもたちは足を止めて、聞き入っていました。開成小の子どもたちのすばらしさ、そしてそれを支え指導する先生方のすばらしさを感じた2学期最終日でした。

（新型コロナウイルス対策として、「2部構成」「時間短縮」「マスク着用」「常時換気（防寒着着用）」などの対策を講じて実施しています。）

♡合奏部クリスマス発表会♡

12月24日（木）に合奏部の保護者の方をお招きして発表会が行われました。クリスマスソングなど、参加された方々の心をうつ素晴らしい演奏でした。合奏部の子どもたちから、すてきなクリスマスプレゼントを受け取ったように感じました。合奏部のみんな、ありがとう！

